

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報  
(5月21日～5月27日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています5月21日から5月27日までに7929件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは7件でした。野生の山菜での検出が見受けられますが、いずれも出荷制限措置がとられています。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 検査結果の抜粋(5月21日～5月27日に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島 県	農産物	210	4	タケノコ	栃 木 県	農産物	31	0	—
	畜産物	376	0	—		畜産物	1104	0	—
	水産物	149	0	—		水産物	25	0	—
	牛乳乳児用食品	7	0	—		牛乳乳児用食品	5	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	39	0	—		飲料水、その他	2	0	—
宮 城 県	農産物	138	2	コシアブラ、タケノコ	群 馬 県	農産物	9	0	—
	畜産物	189	0	—		畜産物	828	0	—
	水産物	57	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	5	0	—		牛乳乳児用食品	2	0	—
	野生鳥獣肉	8	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	0	0	—		飲料水、その他	2	0	—
茨 城 県	農産物	14	0	—	長 野 県	農産物	8	1	コシアブラ
	畜産物	721	0	—		畜産物	23	0	—
	水産物	19	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	1	0	—		牛乳乳児用食品	1	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	0	0	—		飲料水、その他	1	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2017年 9月10日	100%	0.0%	0.0%
2017年 9月17日	100%	0.0%	0.0%
2017年 9月24日	100%	0.0%	0.0%
2017年10月 1日	100%	0.0%	0.0%
2017年10月 8日	99.3%	0.7%	0.0%
2017年10月15日	100%	0.0%	0.0%
2017年10月22日	100%	0.0%	0.0%
2017年10月29日	99.3%	0.7%	0.0%
2017年11月 5日	100%	0.0%	0.0%
2017年11月12日	100%	0.0%	0.0%
2017年11月19日	99.3%	0.7%	0.0%

2017年11月26日	98.9%	1.1%	0.0%
2017年12月 3日	97.6%	2.4%	0.0%
2017年12月10日	99.0%	1.0%	0.0%
2017年12月17日	99.6%	0.4%	0.0%
2017年12月24日	99.1%	0.9%	0.0%
2018年 1月21日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 1月28日	99.4%	0.6%	0.0%
2018年 2月 4日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 2月12日	97.9%	2.1%	0.0%
2018年 2月18日	100%	0.0%	0.0%
2018年 2月25日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 3月 4日	99.3%	0.7%	0.0%
2018年 3月11日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 3月18日	98.6%	1.4%	0.0%
2018年 3月25日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%
2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
<b>2017年5月平均</b>	<b>97.3%</b>	<b>2.7%</b>	<b>0.0%</b>

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで153週連続(約3年)となります。福島県の115検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された2検体ありました。楢葉町のマコガレイ(24 ベクトルキログラム)と広野町のヤナギムシガレイ(8.8 ベクトルキログラム)です。

## (2)検査について基準を超えたものについて

①福島県で採取されたタケノコについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 福島県福島市:タケノコ(310,150 ベクトルキログラム)

イ. 福島県伊達市:タケノコ(110,110 ベクトルキログラム)

福島県福島市、伊達市で採取されたタケノコについては、すでに出荷制限措置がとられており市中には出回っていません。

②宮城県で採取した野生の山菜、タケノコについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 宮城県栗原市:タケノコ(130 ベクトルキログラム)

イ. 宮城県大崎市:コシアブラ(130 ベクトルキログラム)

宮城県栗原市で採取されたタケノコ、大崎市で採取されたコシアブラについては、すでに出荷自粛措置が取られているため、市中には出回っていません。

②長野県で採取された野生の山菜について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 長野県中野市:コシアブラ(110 ベクトルキログラム)

長野県中野市で採取されたコシアブラについては、すでに出荷制限措置が取られているため、市中には出回っていません。

## (3)京都の空間線量(5月21日～5月27日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.037～0.044 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.044～0.052 マイクロシーベルト/1時間となっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.10～0.11 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.13～0.14 マイクロシーベルト/1時間)となっていま

す。

2012年の同時期が0.8 マイクロシーベルト/1時間となっており、今はこの時の10分の1くらいになってきました。しかし 0.1 マイクロシーベルトを下回るところまで来たのは今回が初めてです。過去の平均は 0.038～0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだ高い空間線量となっています。ただ、岐阜県や愛媛県といった日本でも放射線量の高い地域と比較した場合、倍くらいの値となっています。

### 3. 関連情報

#### (1)福島)スズキなど3魚種 試験操業に追加 (朝日新聞 DIGITAL より)

県沖で取れるキツネメバル、シロメバル、スズキの3魚種について、県漁業協同組合連合会は6月から試験操業の対象魚種に加える。23日にいわき市内で開かれた県地域漁業復興協議会が承認した。

3魚種は4月に国の出荷制限が解除された。これで震災前に福島の漁業で水揚げされた魚種のほぼすべてが漁獲対象となり、県漁連の野崎哲会長は「3種の中でも特に『常磐もの』のスズキは世界一との評価もある魚。本格操業へ向けて一層弾みが付く」と語った。

また県漁連は、カナガシラとナガレメイトガレイ、メイトガレイの3種の操業自粛を解除することを決めた。2～3月、国の基準値(1キロあたり100ベクレル)や県漁連の自主基準値(同50ベクレル)を超える放射性セシウムが検出されたり、外見が似ていたりして操業自粛となっていたが、県水産試験場の重点検査で安全性が確認された。

以上